

# 用地測量業務委託 特記仕様書

中野市 都市建設課

1 適用範囲

本特記仕様書は、下記事業に伴う業務箇所の業務に適用する。

事業名	路河川名	箇所名
令和7年度社会資本整備総合交付金事業 市道吉田壁田線用地測量業務委託（繰越明許）	市道吉田壁田線	中野市大字吉田、七瀬、 新井、田麦

2 履行期間

本業務の履行期間は、契約書に定めた期日とする。

3 業務目的

本業務は、上記業務箇所において、土地及び境界等について調査し、用地取得等に必要な資料及び図面を作成するための業務である。

4 業務管理

受託者は、委託契約書、設計書、本特記仕様書、設計・測量・調査業務委託関係集、設計基準（長野県建設部（土木部）監修：最新版）、その他関係法令、条例、基準、通達等に準拠し、業務を施行しなければならない。

5 業務内容

	業務内容	備考
測量業務	用地幅杭設置測量 L=1.24 km 用地測量 A=9.32 万 m <sup>2</sup>	・詳細は設計書による。

なお、業務の延長及び範囲は上記によるが、詳細な範囲は監督員と協議のうえ、決定する。

~~5-1 基準点測量~~

- ~~・測量業務箇所が街区基準点の整備されている地域の場合には、平成18年8月15日付け法務省民二第1794号民事第二課長通知に基づき街区基準点を使用し、業務を実施すること。~~
- ~~・座標値は「世界測地系Ⅷ系測地成果2011」を使用すること。  
なお、任意座標系を認めない。~~
- ~~・街区基準点を使用する場合は、中野市街区基準点管理保全要綱に基づき道路河川課監理係へ「中野市街区基準点使用承諾申請書」を提出し、中野市長が承諾後、使用すること。  
なお、使用する街区基準点等の位置及び高さが中野市街区基準点成果簿座標値と誤差がある場合は、必ず監督員に「中野市街区基準点使用報告書」にて報告し、街区基準点管理者より指示を受けること。~~

#### ~~5-2 地形測量~~

- ~~・測量区域内の地形、工作物（水道メーター、公共マス位置等）、地下埋設物、構造物、庭園、立木、電柱類（電柱番号）、建物壁、軒先、横断水路等のすべてを記入すること。~~
- ~~また、路河川名及び流水方向、構造規格の分かるものは記入すること。~~

#### 5-3 路線測量

- ・各種図にはBM（仮BM）、その他計画上必要な杭高、地盤高及び中心線と交差する水路、暗渠、取入口、排水口等を測定し、構造規格の分かるものは記入すること。

#### 5-4 用地測量

- ~~・本業務の路線は、国土調査法に基づく地籍調査実施済み区域であるため、境界測量、境界点間測量等の業務は実施しない。境界の確認のみ実施するものとする。~~
- ・境界立会い日3週間前までに現地確認及び復元測量を行い、測量結果を基に監督員及び道路管理者と打合せを実施すること。なお、打合せ日前までに平面図及び境界測量結果の重ね図（案）を作成し、2部提出すること。
- ・境界立会い実施後、確定した境界点すべてを記載した境界確定図を2部提出すること。なお、境界確定図には基準点等位置、確定した境界点間距離、境界点座標値等必要事項をすべて記載し2部提出すること。
- ・地積測量図には必ず「世界測地系 VIII系 測地成果2011」を使用している旨を記載すること。

#### ~~5-5 平面、縦断設計~~

- ~~・現地状況等を十分確認、熟知したうえで設計すること。~~
- ~~・街区基準点等位置、用地境界線、法尻線、構造物等はすべて記入すること。~~
- ~~・実測成果を基に横断水路、支道交差、水路、路面排水及び民地高等の諸条件を考慮のうえで設計すること。~~
- ~~・本線計画等をおこなう中で、既設道路敷地を残地として残さないよう極力考慮し、設計すること。~~

#### ~~5-6 横断設計~~

- ~~・平面、縦断設計に基づき現地に即した設計をすること。~~
- ~~・横断図には本線、支道ともに幅員、路盤構成、構造物等及び用地境界位置も必ず記入すること。~~

#### ~~5-7 道路付帯構造物、小構造物設計~~

- ~~・現地状況等を十分確認、熟知したうえで設計すること。~~
- ~~・平面計画内に街区基準点等が設置されている場合は、工事完了後に復旧、使用できるよう街区基準点等保護用構造物を計画すること。~~
- ~~・国土交通省及び長野県土木構造物設計基準を原則として使用し、特別の場合は監督員と協議して設計すること。~~
- ~~・構造物について、地形、地質、荷重条件等を考慮し、現場条件、設計条件に合致するよう設計すること。~~

#### ~~5-8 仮設構造物、用排水設計~~

- ~~・用排水系統について確認及び検討し、系統図、計算書等を作成する。~~  
~~なお、現地地質状況により、道路側溝（雨水排水のみ）の場合は浸透施設（柵及び側溝等）の検討を行なうこと。~~

## 6 貸与資料

必要な資料等は貸与するものとするが、受託者は責任を持ってこれを管理し、紛失、汚損の無いよう注意すると共に本業務以外に利用してはならない。

また、貸与する資料等は使用後又は業務完了後速やかに返納すること。

### 貸与資料

- ・「令和7年度社会資本整備総合交付金事業市道吉田壁田線測量設計業務委託」成果資料
- ・その他委託者が必要と認める資料

## 7 土地の立ち入り

現地調査等のため第三者の土地に立ち入り、または一般の交通に支障を及ぼす等第三者に損害を与える恐れのあるときは、あらかじめ監督員と細部にわたり打合せを行なうものとする。なお、現地調査等の業務を実施する前に地元関係者及び関係機関にその旨を周知し、周知完了後着手すること。

## 8 成果品

本業務の成果品は下記内容のものを2部提出とする。なお、委託者の承諾を受けず第三者への公表、貸与または受託者が使用することはできない。

- ・電子媒体（CD-R又はDVD-R）  
報告書：excel 又は word 並びに PDF ファイル  
図面類：\*.jww、\*.sfc、\*.p21、\*.dxf 又は\*.hoc ファイル
- ・その他発注者が指示するもの

なお、本業務の完了後成果品において過失または疎漏に起因する箇所が発見、指摘された場合は、速やかに訂正及び対応を行うこと。

## 9 打合せ協議

業務着手時、中間打合せ3回、成果品納入時の計5回を計上している。

なお、中間打合せは双方協議の上、必要に応じて実施することとし、それに伴う数量の増減は変更協議の対象とする。

## 10 その他

- ・受託者は、業務の実施にあたり安全に業務が施行できるよう、事前に現地を確認し安全対策及び一般通行者への公衆災害防止に十分留意すること。
- ・本業務にあたり疑義が生じた際は、その都度監督員と書面により協議し、決定すること。